

萬世大路

東北中央自動車道
(福島～米沢北) 通信

第59号 平成28年1月 発行



工事紹介

ぱーと46

◇万世高架橋床版工工事

受注者:(株)後藤組

工期:H27年7月～H28年3月

国道13号などを横断する橋架の床版、高欄を造る工事を行っています。

万世高架橋(仮称)の床版を造っています!

米沢市万世町桑山～金谷地内に万世高架橋(仮称)の工事を行っています。

橋桁の架設工事は昨年7月に終了し、現在は床版及び高欄の施工を行っています。



↑橋桁は七月に完成

(詳細は萬世大路第54号をご覧ください。)

しょうばん

◎ 床版とは・・・

橋の上を通る車両の重みを橋桁(はしげた)や橋脚(きょうきゃく)に伝えるための床板(ゆかいた)のことです。



工事の施工状況

①着工前



27年7月に橋桁の架設が完了

②型枠の組立て



橋桁の上に木製の型枠を設置します

③鉄筋の組立て



φ13mm～φ22mmの鉄筋を組み立てていきます。

⑥現在(H27.12.18)の状況



床版が完了し、高欄、中央分離帯の施工を行っています

⑤コンクリートの養生



コンクリートに欠陥が発生しないように一定の温度(5℃以上)を保ちます。

④コンクリートの打設



コンクリートを入念に敷き詰めていきます。

コンクリートの供給

コンクリートの供給は、地上で生コン車からコンクリートポンプ車に供給し、橋梁の現場まで圧送しています。
このコンクリートポンプ車は高さ30mまで供給可能です。



現場のエキスパート



～万世高架橋床版工工事～ (株)後藤組

当現場は墜落・転落災害防止を安全重点目標として、日々工事を行っています。
毎日作業員に言葉で注意を促すことはもちろんですが、現場内に標語等を多く掲示し、目に見えるものや、音声等で安全意識を高めさせる等の工夫をしながら、安全管理を行っております。
現場も今年は雪が少なく助かっており、床版工のコンクリート打設も順調に完了する事ができました。
これからは、ますます現場条件も悪くなり事故が起きやすくなりますが、全工期、無事故、無災害で工事を完了できるようにがんばります。

米沢工業高校生が工事現場を見学しました!

12月14日に山形県立米沢工業高等学校の建設環境類3年生27名の生徒のみなさんが万世高架橋床版工工事の現場を見学しました。学校では学べない貴重な機会だったのではないのでしょうか。

この体験をぜひ今後に役立てて下さい!!



↑万世高架橋床版工工事にて工事説明を受ける



ご意見・お問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町260-2
TEL: 0238-37-5570 FAX: 0238-37-5575
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/banseitairo/banseitairo.html>

